

令和7年度

産業政策の概要



奈良市観光経済部産業政策課

(令和7年12月発行)

I.奈良市の概要	2
1 沿 革	2
2 位 置	2
3 人口の推移	3
II.機構と事務分掌	4
1 機 構	4
2 事務分掌	5
III.事業内容	6
1 商工業振興対策	6
(1)商業機能の充実	6
(2)中小企業支援	6
(3)創業支援事業	9
(4)買い物支援事業	14
(5)企業誘致	15
(6)産学官連携	17
2 奈良工芸などの活性化	18
(1)奈良工芸などの活性化対策	18
(2)奈良工芸フェスティバル	18
(3)Nara Crafts' Cross Project（令和4年度～）	19
3 金融対策(中小企業資金融資のあっせん)	21
4 消費生活対策	23
(1)消費生活における安全性の確保	23
(2)社会情勢に合わせた消費者被害防止の啓発	24
(3)計量に関すること	24
(4)その他	25
5 労働行政	26
(1)労働条件向上の啓発	26
(2)勤労者福祉対策	26
6 多様な働き方の実現	27
(1)女性の就業支援	27
(2)ワーク・ライフ・バランスの推進	29
(3)障害者雇用の推進	30
(4)高齢者の就業機会の拡大	31
7 各施設	32
(1)なら工芸館	32
(2)奈良市勤労者総合福祉センター	33
(3)BONCHI	34
8 団体	35
(1)公益社団法人奈良市シルバー人材センター	35
(2)奈良市市街地開発株式会社	36
9 課に関連する連絡先一覧	37

I. 奈良市の概要

1 沿革

和銅 3 年(710)

藤原京より平城京へ遷都



現在の平城宮跡

延暦 3 年(784)

都が長岡京へ遷り、かつての平城京は南都と呼ばれる。

江戸時代

産業奨励により**製墨**や**奈良晒**等が発達する。

明治 4 年(1871)

奈良県が設置される(明治 9 年廃止されるが、明治 20 年に再設置される)。

明治 31 年(1898)

2 月 1 日市制施行(人口 29,986 人)

昭和 25 年(1950)

奈良**国際文化観光都市**を宣言する。

平成 10 年(1998)

市制 100 周年を迎える。東大寺など 8 資産群が「**古都奈良の文化財**」として
ユネスコ世界遺産に登録される。

平成 14 年(2002)

全国で 29 番目の中核市となる。

平成 17 年(2005)

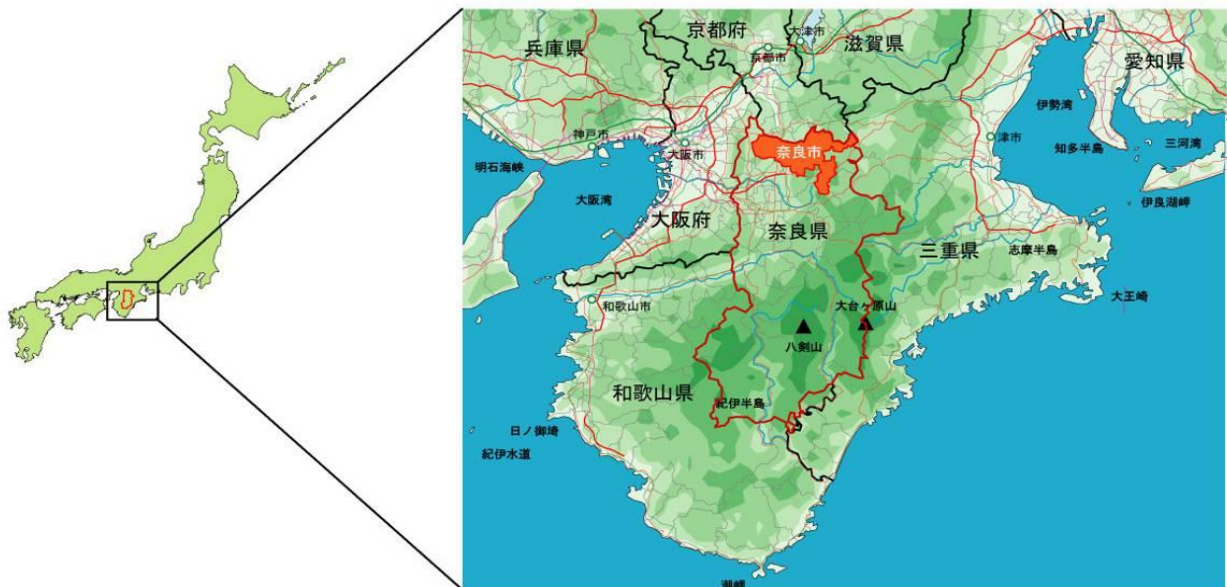
奈良市、月ヶ瀬村、都祁村が合併する。

平成 22 年(2010)

平城遷都 1300 年祭が開催される。

2 位置

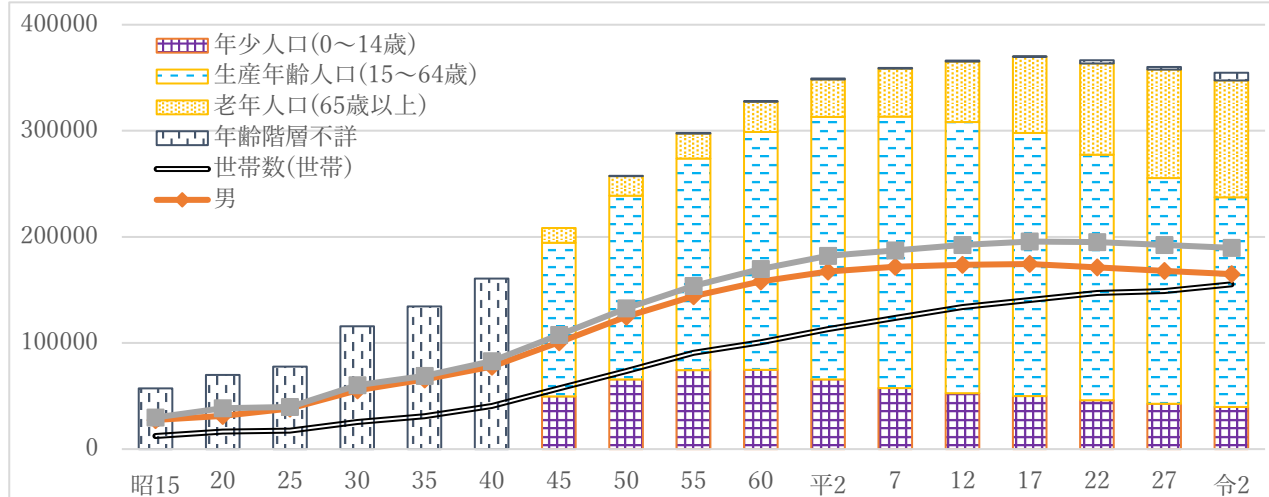
面積 276.94km² (H27.10.1 全国都道府県市区町村別面積調) 緯度 34.4056 経度 135.4841



3 人口の推移

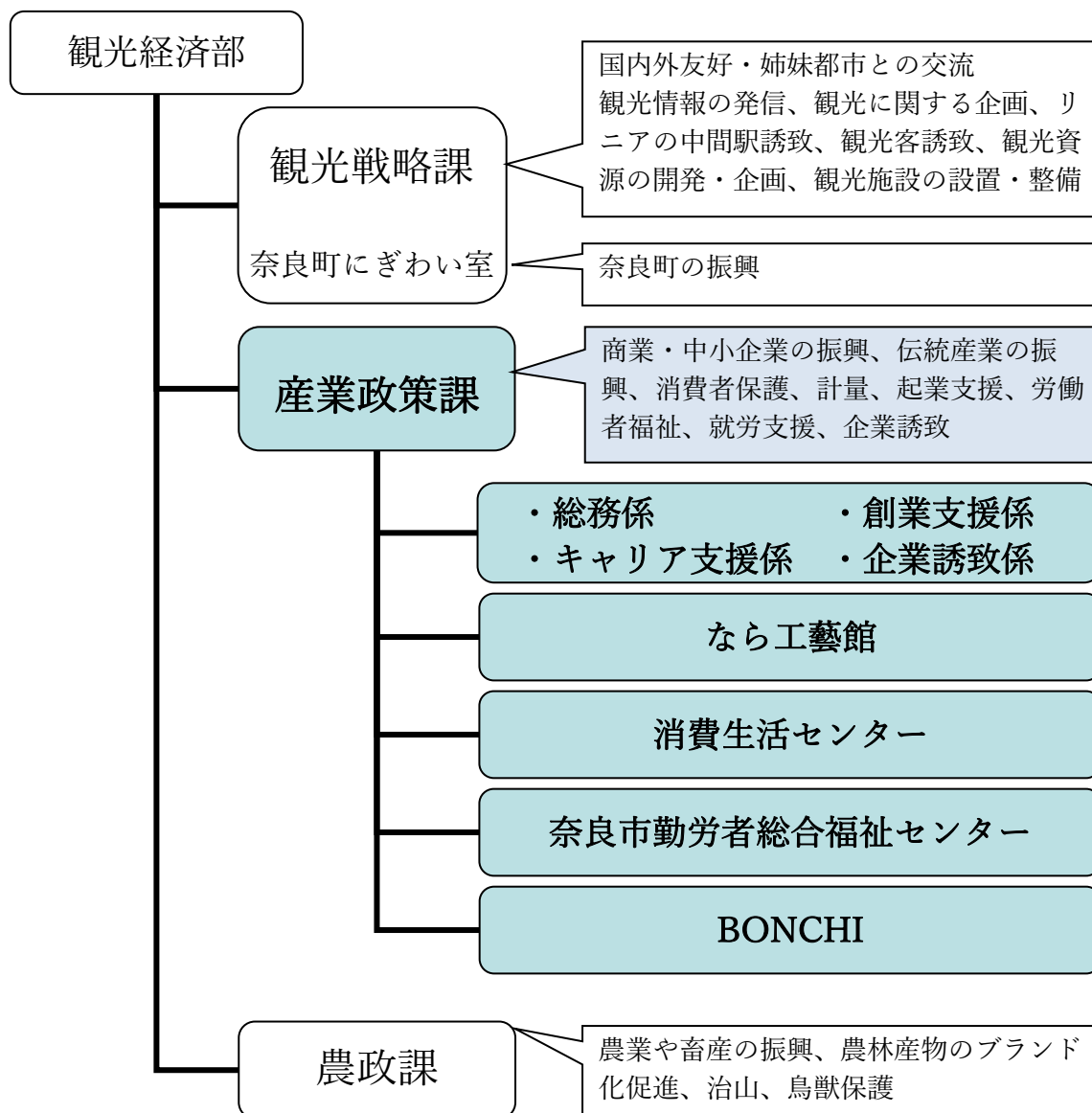
世帯数及び人口の推移

年次及び調査名		世帯数 (世帯)	人 口			一世帯平均 (人)	人口増加率 (%)	人口密度 (人/ k m ²)
			総数 (人)	男 (人)	女 (人)			
昭 20.11.01	人口調査	16,430	69,815	31,417	38,398	4.25	21.9	1,767
22.10.01	第 6 回国勢調査	17,708	82,399	42,512	39,887	4.65	18.0	2,085
25.10.01	第 7 回国勢調査	17,487	77,866	38,097	39,769	4.45	△5.5	1,970
30.10.01	第 8 回国勢調査	25,552	115,674	55,322	60,352	4.53	48.6	954
35.10.01	第 9 回国勢調査	31,026	134,577	65,548	69,029	4.34	16.3	640
40.10.01	第 10 回国勢調査	40,738	160,641	77,865	82,776	3.94	19.4	758
45.10.01	第 11 回国勢調査	57,111	208,266	100,561	107,705	3.65	29.6	983
50.10.01	第 12 回国勢調査	73,651	257,538	124,773	132,765	3.50	23.7	1,215
55.10.01	第 13 回国勢調査	90,821	297,953	144,250	153,703	3.28	15.7	1,406
60.10.01	第 14 回国勢調査	100,798	327,702	157,989	169,713	3.25	10.0	1,546
平 02.10.01	第 15 回国勢調査	112,990	349,349	167,310	182,039	3.09	6.6	1,651
07.10.01	第 16 回国勢調査	123,718	359,218	171,926	187,292	2.90	2.8	1,698
12.10.01	第 17 回国勢調査	133,744	366,185	173,652	192,533	2.74	1.9	1,731
17.10.01	第 18 回国勢調査	140,544	370,102	174,469	195,633	2.63	1.1	1,337
22.10.01	第 19 回国勢調査	147,247	366,591	171,410	195,181	2.49	△1.0	1,324
27.10.01	第 20 回国勢調査	148,920	360,310	167,899	192,411	2.41	△1.7	1,301
令 02.10.01	第 21 回国勢調査	155,305	354,630	164,846	189,784	2.28	△1.6	1,281



II.機構と事務分掌（令和7年7月時点）

1 機 構



産業政策課の人員

	課長	補佐	係長 (事務取扱除く)	係員 (再任用含む)	消費生活相談員 (会計年度任用職員)	計
管理職	1	3				4
総務係			1	5	5	11
創業支援係			1	2		3
キャリア支援係			1	2		3
企業誘致係			1	3		4
計	1	3	4	12	5	25

2 事務分掌

総務係

- (1) 商工業の振興に関すること。
- (2) 中小企業の振興に関すること。
- (3) 中小企業の金融対策に関すること。
- (4) 商工業関係諸団体に関すること。
- (5) 商店街及び中心市街地の活性化に関すること。
- (6) 伝統産業及び伝統工芸の振興に関すること。
- (7) なら工藝館に関すること。
- (8) 消費生活保護及び啓発に関すること。
- (9) 消費生活センターに関すること。
- (10) 計量に関すること。
- (11) 課の庶務に関すること。

創業支援係

- (1) 起業及びその経営支援に関すること。
- (2) 創業支援施設の活用に関すること。
- (3) 買い物支援事業者に関すること。
- (4) シルバー人材センターに関すること。
- (5) 奈良市市街地開発株式会社に関すること。

キャリア支援係

- (1) 就労支援に関すること(他課の主管に属するものを除く)。
- (2) 雇用環境の整備に関すること。
- (3) 障害者就労支援に関すること(他課の主管に属するものを除く)。
- (4) 労働者の福祉に関すること。
- (5) 労働関係行政機関及び労働関係諸団体との連絡調整に関すること。
- (6) 勤労者総合福祉センターの管理に関すること。

企業誘致係

- (1) 企業立地の促進に関すること。
- (2) 産官学連携の促進に関すること。

Ⅲ.事業内容（令和 6 年度の実績）

1 商工業振興対策

(1)商業機能の充実

①中小事業者等にぎわい創出事業補助金

新たなにぎわいの創出と市内事業者の売上拡大を目的として、市内団体等が連携して行う、これからの奈良の定番となるようなイベント等の創成を図る。

▽実施状況

新たなにぎわいの創出と市内事業者の売上拡大を目的として、市内団体等が連携して行う、これからの奈良の定番となるようなイベント等に対し、補助金を交付した。

・補助件数 1 件

②中心市街地の活性化

中心市街地人口は近年減少傾向を示しており、同時に高齢化の進行、商店数の減少等も見られる。そこで本市では「奈良市中心市街地活性化基本計画」を策定、平成 20 年 3 月 12 日付けで内閣総理大臣より認定を受けた。

本計画は基本テーマを「歴史とロマンに抱かれたまほろばの都奈良」と設定し、「訪れたくなるまち」、「歩きたくなるまち」、「活力のあるまち」の 3 つの目標達成に向けて、市街地整備、都市福利施設整備、商業活性化などの事業に取り組んできた。なお、平成 26 年 3 月をもって計画期間はいったん終了を迎えたが、その後もソフト事業を軸に中心市街地の活性化を推進している。

(2)中小企業支援

①産学連携共同研究等補助金

市内の中小企業等が学術機関等の持つ専門知識、知見及び設備・機器等を利用し、共同で取り組む技術研究を実施することにより、産学連携を活性化するとともに技術的課題の解決や技術の高度化・製品の高付加価値化による競争力の強化を図る。

▽実施状況

令和 6 年度は、学術機関等と共同で取り組む技術研究に対し、補助金を交付した。

・補助件数 2 件

②中小企業等新たな挑戦支援補助金

市内企業の経営基盤・経営力の強化と地域イメージ・ブランドの向上のために市内中小企業等が実施する新製品・新サービスの開発に向けた取組を支援することにより、地域産業の振興を図る。

▽実施状況

経営基盤・経営力の強化と地域イメージ・ブランドの向上のために市内中小企業等が実施する新製品・新サービスの開発に向けた取組に対し、補助金を交付した。

・補助件数 8件

③デザイン経営による伴走型支援事業

「デザイン経営（※）」での中小企業支援を行う専門家が、企業経営者に伴走して助言・直接支援を実施することで、企業自身が顧客に高い価値を提供するための新たな戦略の策定を促すものである。また、支援を受けた事業者が「フロントランナー」としての意識を持ち、「高付加価値企業」として成長していく中で、好循環を創出し、市内企業の経営革新やイノベーションへの機運を醸成していく。

※「デザイン経営」

デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法

<主な支援内容>

◆伴走型支援によるコンサルティング

経営改善に資する新たな経営戦略を策定できるよう、専門家が伴走支援を行う。具体的には、それぞれの事業者に応じた、きめ細かなコンサルティングを行いながら、デザイン経営を実践するために必要となる知識・方法などを習得できるようサポートを行う。

◆経営計画書・事業計画書作成支援

複数回に渡る専門家との個別の面談（セッション）を通じて、自社の存在意義を根本から見直し、経営や事業の在り方へと反映させ、自社にしか提供できない価値の創造につながる経営計画書・事業計画書を作成する。



◆支援の経過・結果の広報

今後、被支援事業者がフロントランナーとして地域の機運を醸成し、市内事業者がデザイン経営を導入する契機となるよう、支援の経過、結果について広報を行う。

<デザイン経営導入促進イベント・成果発表会>

■デザイン経営導入促進セミナー・ワークショップ「自社を変えるために、必要な“コト”～新規事業と組織開発編～」

経営課題解決や新規事業創出に関心の高い事業者を集め、デザイン経営による課題解決をイメージしてもらうこと及びデザイン経営伴走支援の参加事業者募集のためのセミナーとワークショップを行った。

DesInsight
参加企業募集

新たな価値を創造する
奈良市デザイン
経営プロジェクト

デザインサイト

エントリー受付中!
セミナー / ワークショップ
2024 10月17日
伴走支援プログラム
2024 11月～2025 3月
申し込み期限
2024年10月24日(木)

セミナー/対話型ワークショップ情報

2024
10.17 (木) 13:00-16:00
申込期限: 2024年10月16日(水) 12:00

13:00-16:00 自社を変えるために、必要な“コト”
～新規事業と組織開発編～

経営者・事業者の思い(アイデンティティ)を経営に落とし込み、会社のパートナーとファンを集めることで、売上向上と組織力向上を行うためのノウハウをお伝えします。

プログラム内容	13:00-13:10 開会あいさつ/趣意説明	14:20-14:50 対話型ワークショップ
	13:10-13:40 講演(講演者: 佐藤清人氏)	14:50-15:00 事業者募集の告知
	13:40-14:20 デザイン経営企業例	15:00-16:00 交流会・名刺交換会

■成果発表会「奈良から未来へ！デザイン経営で描く新たな可能性」開催

令和7年2月25日、奈良市内の事業者（経営者、事業承継予定者、経営に携わる者）、奈良県内の事業者、支援者（商工会議所、金融機関、支援団体、デザイナーなど）に向けて本事業の経過・成果を発表する成果発表会を奈良商工会議所で実施した。

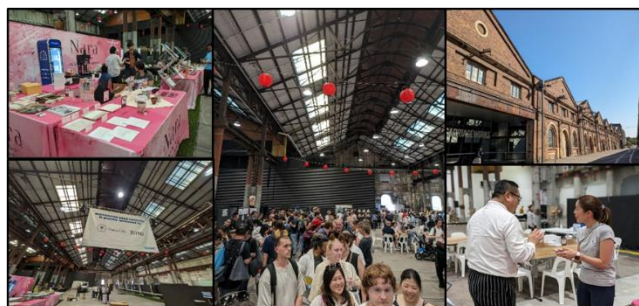
奈良から未来へ！デザイン経営で描く新たな可能性



④海外販路拡大支援事業

令和5年度より、日本貿易振興機構奈良貿易情報センター（ジェトロ奈良）及び奈良商工会議所と協力し、シドニーでの展示会（SAKE FES）及び商談会への出展支援、海外展開に意欲のある奈良の事業者に現地への渡航費を補助することで、海外進出を目指す企業の販路拡大の一步をサポートしている。

令和6年度は、9月28日～9月29日のスケジュールで、海外への販路拡大を目指す市内事業者7社が参加し、来場者に対する商品の販売及びバイヤー等との商談を実施した。



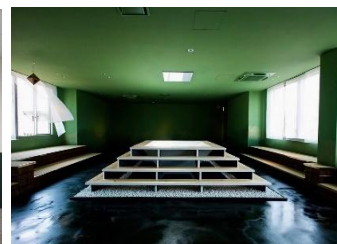
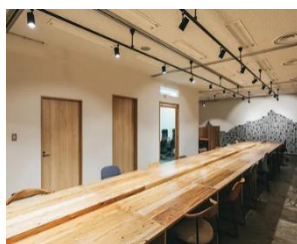
(3)創業支援事業

成長した経営者が次の起業家を育てる好循環「ベンチャーエコシステム」の構築を目指し、若者が起業にチャレンジできる環境を整備し、奈良の地域特性を活かしたビジネス創業を広く支援している。

① 創業支援施設「BONCHI」(施設の概要は P.34 を参照)



起業家支援施設「きらっ都・奈良」が令和2年3月より「BONCHI」としてリニューアルオープンした。カフェやショップの他、起業したい人や既に起業した人が集まり交流する場として、コワーキングスペースを備えている。令和3年6月には、4階に新たなコワーキングスペース”TEN”が完成した。利用者数の増加に伴い、令和6年3月には、1階にもコワーキングスペースを設けた。さらに、令和7年3月には、コワーキング会員等のさらなる事業成長を支援するとともに、県外企業の誘致による雇用創出を図るため、3階に個室型およびブース型のシェアオフィスを整備した。



▽LIFE PICNIC の実施

ゲストトークや参加者との対話を通して、多様な価値観を知り、自分はどうありたいのか？どう生きたいのか？を考える連続企画。「生きる」について考えるという壮大なテーマを掲げながらも、ピクニックのような楽しい雰囲気の中で、重さと軽さ、真剣さと楽しさ、学びと遊び、が混ざり合い、自分たちにとっての「当たり前の世界」を見直す機会にしている。

※第1回～第4回は令和5年度に開催。

第5回

日 時：令和6年5月10日（金）19:00～21:00

ゲスト：近内 悠太 氏（教育者／哲学研究者）

テーマ：交換と贈与

・第6回

日 時：令和6年7月26日（金）19:00～21:00

ゲスト：伊藤 亜紗 氏（美学者） 特別出演：近内 悠太 氏（教育者／哲学研究者）

テーマ：心と体の余白

・第7回

日 時：令和6年11月22日（金）19:00～21:00

ゲスト：松村 圭一郎 氏（文化人類学者）

テーマ：人間らしさと人類学

・第8回

日 時：令和7年2月21日（金）19:00～21:00

ゲスト：澤田 智洋 氏（コピーライター・世界ゆるスポーツ協会）

テーマ：問いの冒険

▽移住×起業 ならわいプロジェクト 2024 の実施

暮らし方や働き方への意識の変化、都市部から地方への関心が高まる中で、「奈良市に移住し起業する」という働き方のきっかけを提案するため、県外居住者を対象に、約4か月間今の住まいに居住しながら、奈良市での活動とオンラインでの活動を併用し、地元企業3社の新規事業に取り組むプロジェクト。令和4年度から開始し、令和6年度は第3回目の開催となった。

自身の経験が役立つ・やっていけるという実感を持てる機会になる実践型プログラム。

--概要--

プロジェクト実施期間：令和6年9月～令和6年12月

期間中、計5回WS等のプログラムを実施。

定 員：9名（奈良県外在住・1チーム3名×3チーム）

参 加 費：2万円（別途往復交通費・宿泊費・食事代など自己負担）

受入先企業：バンビシャス奈良、奈良交通、リリオンテ

メンター：田島 瑞希 氏（Deep Care Lab 理事）、安田 翔 氏（中川政七商店）

佐藤 啓一郎 氏（フィラメント CXO）

▽学生向け創業機運醸成事業「ならわい for students」の実施

何かを始めたいと考える学生（起業予備軍）を対象に、地元企業が持つ課題解決をテーマとした短期間プログラムを実施し、アイデアを形にする力を身につけ、自分にも何かが出来るという実感を持ってもらい、学生に市内における「しごと」の多様な選択肢を提示することを目的とする事業。

--概要--

プログラム実施期間：令和7年3月5日（水）～3月8日（土）

※プログラム開始前に事前チームビルディング研修等を実施

参 加 者：17名

参 加 費：無料

受入先企業：株式会社コンフィーステイ、株式会社エヌ・アイ・プランニング

メンター：飯田 一弘 氏（株式会社 Whoops 代表）、真鍋 邦大 氏（龍谷大学准教授）

▽創業相談の支援体制強化

奈良市として創業支援を強化していくために、多様かつ専門性の高い相談に応えられる体制を整えた。令和4年7月から専属創業相談員を配置すると共に、専門分野別のアドバイザーも配置し、創業支援体制を強化、更には創業を考えている人向けの創業セミナーを開催した。

(1)「行動経済学を紐解きビジネスを加速させるワークショップ」

日 時：令和 6 年 6 月 7 日（金）10:00～12:00

ターゲット：事業を始めて間もない方、顧客心理について知識を深めたい方

内 容：行動経済学の基本となる「認知のクセ（システム 1 vs システム 2）」と「ナッジ理論」の考え方を知り、実践的なワークショップを通して、実際のビジネスシーンでの応用方法を探求する。

参 加：16 名

講 師：梶 純子 氏（中小企業診断士）

(2)「10 年後から考えるビジネスアイデア発想ワークショップ」

日 時：令和 6 年 11 月 15 日（金）10:00～12:00

ターゲット：将来的に起業を考えている方、事業を始めて間もない方

内 容：10 年後の奈良を想像し、そこから見えてくる課題からビジネスアイデアを考えるワークショップ。

参 加：11 名

講 師：梶 純子 氏（中小企業診断士）

(3)「キャリアワークショップ 2025～ライフキャリアでアプローチする自己理解～」

日 時：令和 7 年 3 月 11 日（火）10:00～12:30

ターゲット：将来の仕事や働き方についてモヤモヤを感じている方、自分の強みや大切にしたい価値観を言語化したい方、暮らしと仕事のバランスについて考えたい方

内 容：ライフキャリアとは、人生全体の活動や役割から「自分はどのように生きたいか」を見つめ直すアプローチ。暮らしや仕事で得てきた強みを再発見し、大切にしたい価値観を言語化することで自己理解を深めるワークショップ。

参 加：11 名

講 師：フェミア 恵子 氏（国家資格キャリアコンサルタント）

②令和 6 年度起業家支援事業

起業に向けての様々なステージにおられる方に対応できるよう、起業家支援メニューを展開。

<奈良市ふるさと起業家支援事業>

令和 3 年度より、ガバメントクラウドファンディングを活用した起業家支援事業を実施している。ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」のクラウドファンディングページで寄附を募集し、集まった寄附金は、目標金額の達成・未達成に関わらず挑戦起業家へ交付。寄附者は寄附金の金額に寄附金控除が適用される。

- ・令和 3 年度の挑戦起業家はゴールデンラビットビールの市橋氏。最終寄附額は 123 万円。
- ・令和 4 年度の挑戦起業家は(株)HARUHINO の辻之所氏。最終寄附額は 117.5 万円。
- ・令和 5 年度の挑戦起業家は asworks の田代氏。最終寄附額は 133 万円。
- ・令和 6 年度の挑戦起業家は株式会社ロボデザインの松本氏。最終寄附額は 150.8 万円。

<奈良市成長志向起業家育成プロジェクト「NARA STAR PROJECT」>

成長志向を持つ経営者及び起業家を育成するとともに、成長した経営者が後輩起業家を育てるベンチャー・エコシステムの構築をめざすプロジェクト。令和6年度は、7期生8名に対して約6カ月のプログラムを実施した。

■8期生

今井 駿一 氏 （株式会社 TaleNavi）
影石 崇 氏 （国広産業株式会社）
竹本 清香 氏 （株式会社 Chamikodo）
辻之所 恒久 氏 （株式会社 HARUHINO）
堀井 彬孝 氏 （やまとびと株式会社）
和田 拓也 氏 （株式会社吉川電機製作所）



■プレイベント

令和6年7月9日（火）18:00～20:00

開催場所：奈良県コンベンションセンター

基調講演 「経営視点で語る奈良クラブ成長の軌跡ーJリーグに挑むゲームチェンジャー」

濱田 満 氏（株式会社 Amazing Sports Lab Japan／奈良クラブ代表取締役社長）

■資金調達会

概要

13 金融機関 50 人参加

③創業支援等事業計画

市と民間事業者が連携して創業を促進する取組として、本市では産業競争力強化法に基づいた「創業支援等事業計画」を策定しており、事業で連携を行うほか、本計画に基づく「特定創業支援事業」を受講し、市から証明書を交付された方は、登録免許税の軽減措置や創業関連保証枠の拡充等の支援が受けられる。

＜全体像＞

※下線は特定創業支援等事業



(4)買い物支援事業

日常の買い物や生活に必要なサービスを受けることに困難を感じる人々、いわゆる買い物弱者の支援の一つとして、平成 28 年 3 月より、お買い物情報サービスの情報を奈良市ホームページにて掲載している。

また、令和 2 年 9 月より、移動販売を行う民間事業者、奈良市社会福祉協議会、包括支援センター、UR、ならびに奈良市による買い物支援ネットワークを立ち上げた。日常の買い物に困っている方への支援策を話し合い、解決に導くことを目的に、2 ヶ月に 1 回、定例会を開催している。令和 7 年 1 2 月現在、市内約 150 か所で移動販売を実施している。



(5)企業誘致

産業振興や雇用創出による地域経済の活性化を目指し、企業誘致を積極的に推進している。

① 企業立地コンシェルジュによる情報発信・誘致活動

令和2年4月からは企業誘致に特化した企業誘致係を新設し、担当職員が「企業立地コンシェルジュ」として、物件探しから操業後のアフターフォローまで迅速かつ適切にワンストップでサポートする体制を整えた。

立地先としての奈良市の優位性や魅力を伝えるパンフレットやウェブサイトを作成したほか、奈良県主催の企業立地セミナーでのパンフレット配架や、個別の企業訪問による情報発信など多角的な誘致活動に取り組んでいる。



※奈良市の優位性や魅力を伝えるパンフレット「奈良市企業新時代」、企業誘致に特化したウェブサイト「企業立地ガイド」

② 優遇制度・規制緩和

本市に立地する企業向けの優遇制度として、「奈良市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例」を制定した。令和2年4月1日以降、奈良県から「地域経済牽引事業計画」の承認を受け、対象となる施設を設置した企業に対し、固定資産税を3年間課税免除する。また、規制緩和策として、「奈良市工場立地法準則条例」を制定し、工場立地法において規定されている緑地の面積率等を緩和している。これにより、歴史的・文化的背景から大規模の工場が立地できる地域が非常に限られた本市において、産業用地の効率的な活用を促している。



①固定資産税を3年間免除(地域未来投資促進法に基づく支援)

2020年4月以後に奈良県より地域経済牽引事業計画の承認を受け、対象となる施設を設置したとき、固定資産税(土地・建物・構築物)を3年間課税免除します。

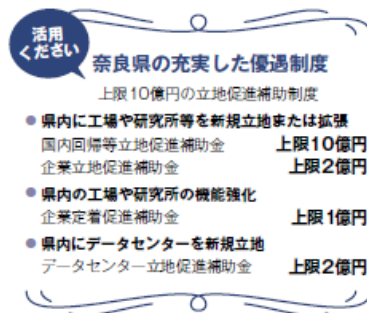
(対象分野)

- 1) 産業集積を活用した成長ものづくり分野
- 2) 神社仏閣等の観光資源を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり
- 3) 奈良県産業振興総合センター等の公設試験研究機関を活用した成長のものづくり分野
- 4) 三輪素麺、柿等の特産物を活用した農林水産・地域商社
- 5) 道路網及び鉄道網等の交通インフラを活用した物流
- 6) 産業の集積を活用した情報通信

(対象要件)

県知事による地域経済牽引事業計画の承認を受け、かつ計画に従い新増設する固定資産の取得価額が右表を満たすもの

業種	固定資産取得価額
農林漁業関連業種	5,000万円超
その他	1億円超



②工場立地法に係る緑地面積率等の緩和

設備投資しやすい環境整備の一環として、緑地面積率等の緩和を実施します。土地の有効活用にお役立てください。※国の定める範囲内で最大の緩和

●区域区分と緑地面積率

[準工業地域]

	国	奈良市
緑地面積率	20%以上 →	10%以上
環境施設面積率	25%以上 →	15%以上

[工業地域・市街化調整区域・都市計画区域外の地域]

	国	奈良市
緑地面積率	20%以上 →	5%以上
環境施設面積率	25%以上 →	10%以上

③助成制度

サテライトオフィス等設置推進補助金

「多様な働き方ができるまち」として、「地方に住み働く職住近接のライフスタイル」及び「企業の成長戦略」としての市内への新規サテライトオフィス設置を行う事業者に対して、初期投資を支援する補助金を令和2年10月に創設した。

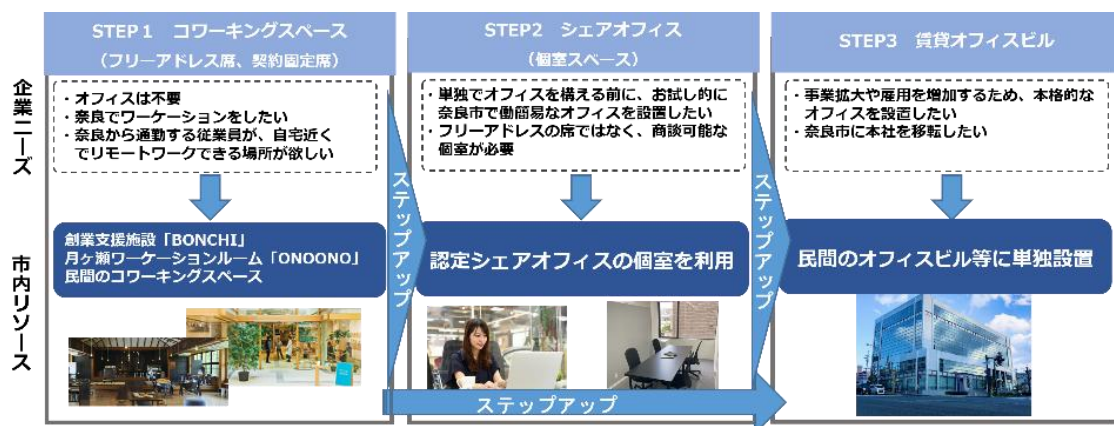
令和4年12月からは奈良市内のシェアオフィスに入居する場合も補助対象とし、奈良市認定シェアオフィスの個室への立地や、認定シェアオフィスから市内のオフィスビルへの拡大移転について

でも支援しているほか、令和6年度には外国企業が日本法人の本社を設置する場合も補助対象としたことで、外国企業の日本法人設置も支援している。



【実績】

- ①株式会社誠勝(令和2年度開設)
- ②パーソルテンブスタッフ株式会社(令和4年度開設)
- ③ジェネロ株式会社(令和5年度開設)
- ④株式会社かんでん CS フォーラム(令和5年度開設)
- ⑤株式会社ワークポート(令和5年度開設)
- ⑥株式会社ソルトコ(令和5年度開設)
- ⑦株式会社レジデンシャル不動産(令和6年度開設)
- ⑧ポープラン Japan 株式会社(令和6年度開設)



産業用地開発促進奨励金

製造業や物流業など一定規模の敷地面積を必要とする企業は即時立地が可能な整備済みの産業用地を求める一方で、市内には活用できる工業団地が不足している。豊富な実績を持つ民間事業者の資金と技術力を活用しスピード感を持って産業用地の整備を促進するため、奈良市内で産業用地を整備し企業を誘致する事業者へ奨励金を交付する補助金制度を令和2年10月に創設した。

(6)産学官連携

奈良市内には7大学のキャンパス、奈良市の近隣には奈良先端科学技術大学院大学や奈良工業高等専門学校があり、高度な専門知識を持つ人材を輩出してきたが、多くの学生が奈良市外に就職している現状がある。奈良市では、市内で働きたい若者と市内企業とのマッチングや、研究機関と市内企業との産学連携を推進するため地域の教育機関との連携を強化する取組を進めている。

本市と奈良先端科学技術大学院大学及び奈良工業高等専門学校は、それぞれが保有する知的・人的・物的資源等を有効に活用し、相互に連携・協力することで、地域の産業振興と経済の持続的な発展に寄与することを目的とし、令和4年3月29日に『奈良市と国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、独立行政法人国立高等専門学校機構奈良工業高等専門学校との地域の産業振興についての相互協力・連携に関する協定』を締結した。また、令和4年8月30日には奈良女子大学とも『奈良市と奈良女子大学との地域の産業振興について相互協力・連携に関する協定』を締結した。



2 奈良工芸などの活性化

奈良はわが国の文化発祥の地であり、天平の昔から多くの遺品が正倉院宝物や社寺の宝物として現存している。近世に生まれたものも、古い歴史にはぐくまれ、土地の風土に合致したものが多く伝えられている。

現在、市内で伝承されているものは、国宝級の古文化財をつくりだした先人の技法の伝承者によりたゆまぬ研鑽が続けられ、多少の変遷もみせてはいるものの天平時代の遺風を受け継ぎ、優雅な気品を留めている。

(1)奈良工芸などの活性化対策

奈良工芸などにおける後継者不足が近年深刻化している。伝統ある奈良工芸などの技法・技術を次代に伝えるために、平成18年度から後継者を育成・支援する『奈良伝統工芸後継者育成研修』を実施している。同時に、なら工芸館を利用し、奈良工芸の一層の振興発展を図っている。

令和3年8月、なら工芸館をリニューアルした。

奈良伝統工芸後継者育成研修実績

	研修期間	研修内容
1期生	平成18年10月～平成21年9月	一刀彫1名・赤膚焼1名
2期生	平成21年10月～平成24年9月	一刀彫1名・赤膚焼1名・奈良漆器1名
3期生	平成24年10月～平成27年9月	奈良漆器2名・一刀彫1名
4期生	平成27年10月～平成30年9月	奈良漆器2名・奈良団扇1名
5期生	平成30年10月～令和3年9月	一刀彫1名・赤膚焼2名
6期生	令和3年10月～令和6年9月	一刀彫1名・奈良漆器1名・赤膚焼1名
7期生	令和6年4月～令和9年3月	奈良漆器2名

(2)奈良工芸フェスティバル

毎年正倉院展に合わせて、なら工芸館にてさまざまな分野の作家の作品を一堂に展示し、制作実演・体験などを行う。工芸の創り手と使い手がともに集うことで、市民に奈良伝統工芸に対する理解と認識を深めてもらう。

① 特別展示「奈良伝統工芸 つくる、つたえる、つづく『ツツツ展』

「つくる」「つたえる」「つづく」をキーワードとした 奈良伝統工芸作品を展示。

② 制作体験

一刀彫や陶芸、奈良晒など5種類の工芸品の一日制作体験教室を行う。

③ 制作実演

主に奈良伝統工芸後継者育成研修生による会場での制作実演を行う。

④ ギャラリートーク

作家さんならではの視点で、奈良伝統工芸についてお話いただきます。

⑤ お茶席

奈良の工芸作家による工芸話を聞きながら、茶道具を使ったお茶席で来場者をもてなす。

奈良工芸フェスティバル来場者数(過去5回)

開催日	開催テーマ	来場者
平成 30 年 10 月 27 日～11 月 4 日	奈良工芸の守破離	5,774 名
令和 元年 10 月 26 日～11 月 4 日	継ぎへのとびら	6,417 名
令和 4 年 11 月 1 日～6 日	それは奈良から始まった	2,481 名
令和 5 年 10 月 28 日～11 月 5 日	なら工芸の余韻	3,098 名
令和 6 年 11 月 1 日～11 月 4 日	つくる、つたえる、つづく	1,613 名
※令和 2～3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施していない。		



工芸品の一日制作体験教室

(3)Nara Crafts' Cross Project (令和 4 年度～)

“次代の工芸作家のフロントランナーを創出する”をコンセプトに、昨今の変化の激しい時代の中でも自分自身のビジョンや戦略を見据え、工芸活動を営む方々に対し、経営やブランディング、マーケティングというアプローチからの多角的な支援を通じて、工芸作品や技術を新たな時代に繋げていくための取組を行う。

<主な支援内容>

① 公開講座によるレクチャー

工芸関係のイベント主催者を招き公開型による講座を実施。工芸のこれからについて考え、学ぶきっかけとなる公開型の講座を開催した。

▽実施公開講座概要

【第1回公開講座】

日時：令和6年8月24日（土）17:00-18:30

場所：BONCHI 4階 TEN

タイトル：正倉院宝物の「わざ」と道具

登壇者：宮内庁正倉院事務前所長 西川 明彦 氏

【第2回公開講座】

日時：令和6年10月12日（土）17:00-18:30

場所：BONCHI 4階 TEN

タイトル：奈良工芸に使えるセルフブランディング ～奈良工芸の今と未来～

登壇者：株式会社ソルトコ代表取締役 クリエイティブディレクター デザイナー 福嶋 賢二 氏

【第3回公開講座】

日時：令和7年2月8日（土）14:00-15:45

場所：BONCHI 4階 TEN

タイトル：近世近代の大和の工芸～技と美と誇り～

登壇者：元春日大社権宮司・奈良県立大学客員教授 岡本彰夫 氏

② 伴走型支援

伴走型支援を通して、目標となる作家像や販路のポートフォリオのイメージ及び参加者の現状や目標に至るまでの課題整理をおこない、目標達成に必要な知識やノウハウが習得できるよう手段の検討、具体的な取組指導を行うとともに、作品の魅力の更なる磨き上げができるよう、参加者の状況に応じたきめ細かな伴走型支援を行った。

3 金融対策(中小企業資金融資のあっせん)

市内に居住(法人にあっては主たる事業所が所在)、市内に事業所を有する、もしくは市内で事業を行う具体的計画を有する中小企業者等の健全なる発展及び振興に寄与するため、事業に必要な資金の融資をあっせんする。

令和6年度より中小企業等に対する事業者支援を加速させるため、奈良中央信用金庫・奈良信用金庫・大和信用金庫と連携し、市【認定枠】を新設した。認定枠では奈良市産業政策課が主催する以下の事業に選定され修了した実績がある事業者で、その事業計画について(原則)事業着手前に市長の認定を受けた方を対象に、より低金利で保証料負担無しで融資を受けることが可能となる。

※取扱金融機関及び信用保証協会による審査が必要。

- ・デザイン経営フロンランナー企業育成プログラム
- ・NARA STAR PROJECT
- ・Nara Crafts'Cross Project (公開講座の受講のみの場合は対象外)
- ・ふるさと起業家支援事業
- ・産学連携共同研究等支援補助

奈良市中小企業資金融資制度 (令和6年4月1日現在)

融資の種類	融資限度額	利率 (上限)	融資期間	償還方法	連帯保証人	信用保証及び担保
中小企業事業 資金	1,500 万円	年 1.5% 以下	5 年以内 (うち据置6月以内)	月賦その他 の分割	【個人の場合】 原則として不要 【法人の場合】 奈良県信用保証協 会の定めるところ による	【信用保証】 奈良県信用保証協会の 保証を要する。 (保証料の70%を市で 負担) 【担保】 必要に応じ、奈良県信 用保証協会が徴収
小規模企業 小口事業資金	1,000 万円	年 1.0% 以下				【信用保証】 奈良県信用保証協会の 保証を要する。 (保証料の70%を市で 負担) 【担保】 不要
創業支援資金	1,000 万円					【信用保証】 奈良県信用保証協会の 保証を要する。
中小企業支援 事業資金 【認定枠】	1500 万円	年 0.5% 以下				【信用保証】 奈良県信用保証協会の 保証を要する。

企業立地事業 資金 【認定枠】	1,000 万円					(保証料は全額市が負担) 【担保】 不要
-----------------------	----------	--	--	--	--	--------------------------------

信用保証を受けることができる中小企業

融資の種類	中小企業事業資金・創業支援資金 中小企業支援事業資金【認定枠】 企業立地事業資金【認定枠】		
		小規模企業小口事業資金	
業種	従業員数		資本金(出資金)
小売業	50 人以下	5 人以下	5,000 万円以下
サービス業	100 人以下		
卸売業	100 人以下		1 億円以下
製造業、建設業 運輸業、その他	300 人以下	20 人以下	3 億円以下

利用実績

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
事業資金	—	—	—	—	56	483,800
事業設備資金	9	34,950	5	23,600	—	—
事業運転資金	33	222,880	29	173,800	—	—
無担保無保証人 小口事業資金	3	12,000	1	10,000	—	—
小規模企業 小口事業資金	128	454,350	139	579,500	207	770,890
創業支援資金	3	13,500	6	20,500	12	42,500
認定枠	—	—	—	—	3	27,000
合計	176	737,600	180	807,400	278	1,324,190

(注)実績は、奈良県保証協会の保証報告による。

4 消費生活対策

近年、情報化や国際化、サービス化の進展等、消費者をとりまく環境の著しい変化に伴い、消費者ニーズも多様化、高度化し、新たな消費者問題が発生している。

安定した消費生活をめざし、消費者の権利と安全を確保するための啓発・情報の提供など、総合的な消費者行政を推進する。

(1)消費生活における安全性の確保

消費生活における安全性の確保は消費者保護の基本的課題であり、食品、医薬品、農薬、家庭用品等それぞれの特性に応じた安全規則について、消費者に知らせる。また、消費生活相談を通じて被害情報、危害情報の迅速な収集を行い、国民生活センター等へ提供し、その予防と被害防止に努めている。

①消費生活相談事業

昭和 49 年から市民の消費生活についての苦情及び相談を受け付け、消費者の利益を守るとともに奈良県消費生活センター及び国民生活センターとの連携を密にし、消費生活に関する情報の収集及び市民だより等による情報の提供を行っている。

奈良市消費生活センター

場所 奈良市役所北棟 2F

電話：0742-34-4895 FAX：0742-34-4825

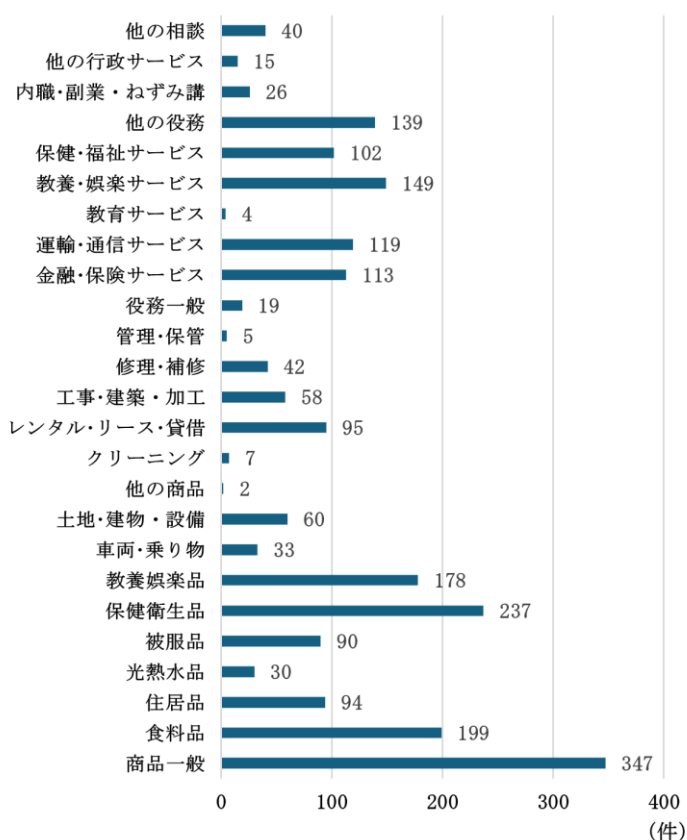
受付時間 毎週月～金曜(祝日・年末年始休み) 9:00～16:00



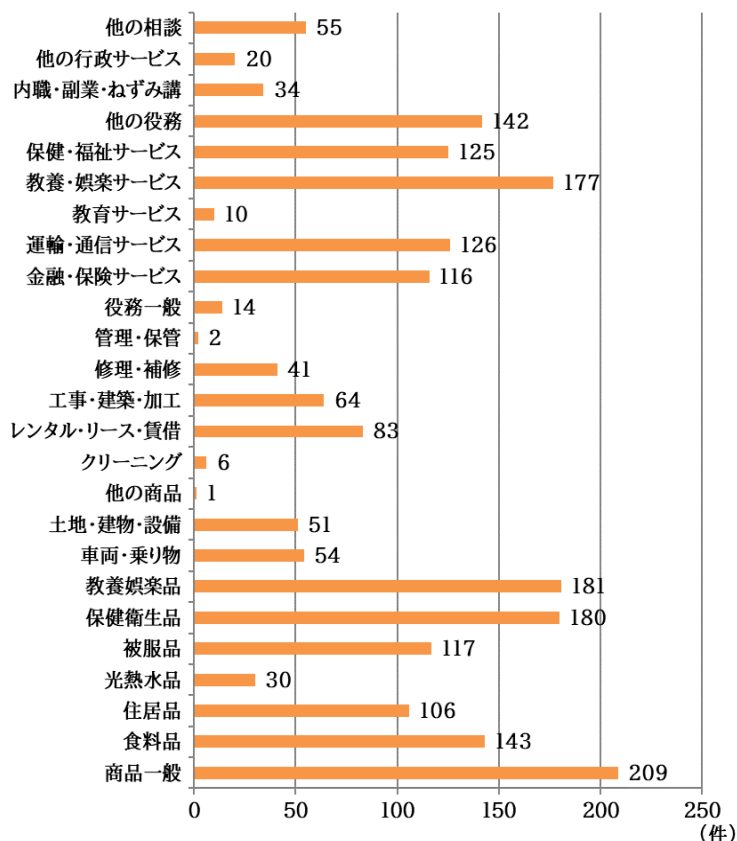
令和 6 年度事業実施結果

消費生活相談受付件数 2,203 件

令和6年度商品別相談受付件数（総件数2203件）



令和5年度商品別相談受付件数(総件数 2087件)



(2)社会情勢に合わせた消費者被害防止の啓発

令和 4 年 4 月からの成年年齢引き下げに伴い、若年層への消費者被害防止、少子高齢化社会における地域の見守り活動など、社会情勢等に合わせて啓発を強化し効果的に実施している。啓発の方法として、市民だよりや奈良市消費生活センター公式 X「トラブルーくん」等を活用するとともに、県や他市、市内各団体や学校と連携しながら啓発活動を行っている。令和 7 年 1 月 27 日～29 日の 3 日間、奈良市立一条高等学校にて、高校 2 年生を対象に出張授業を行った。奈良市消費生活センターの相談員が講師として登壇し、「目指せ かしこい消費者！！」をテーマに講義を実施した。

(3)計量に関すること

計量法による「特定市」として、計量法の目的である適正な計量の実施を確保し、計量取引の安全と秩序を維持するため、計量器の定期検査、立入検査を実施する。

定期検査実施台数

(単位：台)

はかり種別	R2 年度	R3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
電気式はかり	98	535	83	578	91
手動天びん	0	0	0	0	0
等比皿手動はかり	0	3	0	4	0
棒はかり	0	0	0	0	0
その他の手動式はかり	25	12	19	15	20
ばね式はかり	77	72	60	71	63
手動指示併用はかり	0	0	0	0	0
その他の指示はかり	0	0	0	0	0
合 計	200	622	162	668	174

分銅					
定量おもり	0	0	0	0	0
定量増おもり	120	90	95	110	95

検査戸数	109	401	79	401	81
------	-----	-----	----	-----	----

※奇数年度は奈良市内(月ヶ瀬・都祁地域を除く)、偶数年度は月ヶ瀬・都祁地域で検査を実施。

(4)その他

①販売業者に対する立入検査

県からの権限移譲に伴い、定められた品目の販売について適正な表示等を行っているかどうかを立入検査する。

- ・電気用品立入検査
- ・ガス用品立入検査
- ・液化石油ガス用品立入検査
- ・家庭用品立入検査
- ・消費生活用製品立入検査

5 労働行政

(1)労働条件向上の啓発

労働条件向上のため、勤労者及び事業主に対する啓発として、労働法等法制度をホームページに掲載する。

(2)勤労者福祉対策

勤労者総合福祉センター(施設の概要は P.33 を参照)を拠点とし、勤労者の福祉向上を図る。

①勤労者福祉事業

➤ 概要

勤労者福祉サービスセンター(愛称：うえるびい奈良)への支援を通じて、市内に所在する中小企業の勤労者、事業主及び市内に居住する中小企業勤労者に対する総合的な福利事業を行うとともに、中小企業勤労者の福祉の向上、中小企業の進捗と地域社会の活性化を図る。

➤ 事業実施内容

ア 福利厚生事業

- ・日帰りバスツアー等のレクリエーション
- ・旅行(施設と割引利用協定や旅行社との提携)
- ・映画館、遊園地等のチケット斡旋
- ・プロ野球観戦チケット、ゴルフショットカード等の斡旋
- ・ショッピング等各種割引優待



イ 給付事業(お祝いごとやお見舞いごと等があった場合の給付金の支給)

ウ 健康管理事業(人間ドック、健康診断の受診補助等)

エ 貸付斡旋事業

オ 文化・各種教室の斡旋と受講料補助

カ ローチケ b i z + による各種チケット斡旋等

➤ 会員の資格

奈良市内の中小企業(従業員 300 人以下)に従事する勤労者、その事業主または市民で中小企業に勤務する勤労者

➤ 入会金・会費

入会金は会員 1 人につき入会時に 500 円、会費は 1 人 1 か月 800 円

②奈良県労働者福祉協議会事業への支援

勤労者美術展優秀作品表彰やライフサポートセンター事業への助成を行う。

6 多様な働き方の実現

女性の就業促進と職場定着を図ることを目的として、令和3・4年度は、高齢化の進行や若年性人口の減少等により慢性的な人材不足が課題である介護業界に絞り、求職者と事業者が直接顔を合わせるための合同企業説明会や、介護法人内での採用・定着支援を目的とした事業を実施した。令和5・6年度は、育児・介護等、ライフステージの変化により、自ら積極的に求職プロセスを踏むことができない女性がそれぞれの個性や能力を発揮できる「多様な働き方」を推進するため、女性が働きやすい求人票を作成するためのコンサルティングや合同企業説明会を実施した。

(1)女性の就業支援

➤ 女性向けセミナー

育児・介護等を理由に離職したが就労意欲のある女性に対し、短時間勤務・少日数勤務・リモートワーク等を取り入れて時間に制約のある女性でも最大限持てる能力を発揮できる働き方を「ジャストフィットワーク」と定義し、この働き方を提案するためのキャリアアップセミナーを開催した。セミナーでは就労への不安を解消できるよう、子育てをしながら働く女性のキャリアや、働く上で気を付けるべきポイント等、体験談を通して就労意欲を醸成する内容も含めた。

奈良市
木津川市
主催

女性の就業支援 ジャストフィットワーク

無料セミナー開催

ママが輝くと子どもの未来が輝く！
柔軟な働き方・子どもの関わり方について

参加無料
11.29
10:30～12:00

詳細の相談がある女性や短期勤務やリモートワークを希望するポイント型を予定。
ゲストには、希望者ならお電話予約や対面型として開催している後援企業様を
お招きし、子育てと仕事を両立しながら働く経験や、アライアンスなどについて
ご紹介します。

ゲスト

香西 志帆
執行副社長兼監修

通称「志帆ちゃん」。奈良市では主に企業や経営者向けに、子育てと仕事を両立するためのセミナーやイベントを開催中。2022年、奈良市「母と子ども」をテーマにしたイベント「ママの未来」を開催。奈良市など他府県でキャリアアップ支援を目的とした、柔軟な働き方を推進する「ジャストフィットワーク」の推進役として、奈良市や企業様と連携し、子育てと仕事を両立するためのセミナーやイベントを開催中。

講師

はぐくみセンター
奈良市立木津川13-1
オンライン配信あり！
リアルタイム・オンデマンド配信
奈良市もしくは木津川市在住の女性
定員 30名（申込順）
申込締切 11月28日（木）16:00

プログラム

10:00 受付開始
10:30 パネルディスカッション
ママの働くスタイルの決壊と決壊の
経験談を語り、子どもと両立するためのポイント
11:30 質疑応答
11:45 本事業の紹介・閉会
12:00 キャリアカウンセリング提供（事前予約制）

3つのおすすめポイント

- 自分のキャリアや
なりたたい業を探れる
- 仕事と家庭を両立する
ヒントが見つかる
- 希望者には内定までの
就職サポート！

サービス詳細は裏面へ



➤ 企業向けセミナー、個別コンサルティング

求職者だけではなく、企業に対しても「ジャストフィットワーク」の啓発を行うため、女性が働きやすく、働き甲斐のある職務環境の整備の手法や、女性人材を戦力に変えた事業成長事例を紹介するセミナーを実施した。また、希望する企業には個別のコンサルティングを実施し、子育て中の女性が働きやすく、働きがいのある勤務環境の整備や、子育て中の女性へ向けた訴求力ある求人票の作成を支援した。



➤ 個別就職相談会、合同企業説明会の開催

上記の個別コンサルティングを実施した企業を含む 19 社がブース出展し、1 月にイオンモール高の原で合同企業説明会を実施した。ハローワーク奈良やハローワーク木津の協力により、ジャストフィットワークが可能な求人票を集めて掲示するとともに、ハローワーク職員によるキャリア相談コーナーも併設した。また、子育て中の女性が参加しやすい時間帯である平日の 10 時～14 時で 2 日間の開催とし、オンラインでの面談も可能とすることで、時間や場所に制約のある女性の参加しやすい環境を整えたことで、個別就職相談会に 17 名、合同企業説明会に 90 名の参加に繋がった。

参加無料
女性限定

和らしく、ガユツと働く！

奈良市・木津川市

女性が輝く

リモートワーク

お仕事相談会

1/21(火) 1/22(水)

10:00～14:00

イオンモール高の原 2F 平安コート
オンライン参加・オンデマンド配信あり

採用担当者や現場職員と直接話せる！
効率良く企業の情報を収集・比較検討できる！

企業マッチング

更に2～3日間の少日勤務場や時短勤務、リモートワークを活用した
ライフステージに応じた柔軟な働き方（ニジャストフィットワーク）を取り入れている企業と
直接対話や相談ができる合同企業説明会を開催します！

対象
奈良市・木津川市在住の女性

求人企業
株式会社ダスキン山城 株式会社本家楽屋
株式会社ファーストステージ 株式会社京うまん
株式会社トラータ 他にも多数の企業が参加予定

詳しくはWebサイトをチェック！

当日参加OK 2日間開催

ハローワーク出張ブースあり

キッズスペースあり

お仕事セミナー
AM10:00～
ジャストフィットワーク
経験者の体験談から学ぶ！
「時間に制限のある女性の働き方」

来場特典！
企業ブースを
3つ以上周って
特別なプレゼントをGET♪

参加お申し込みは
こちらから



➤ DX人材養成講座の実施

結婚や出産などで離職した女性や新たに就職活動を志す女性（30名）を対象に奈良市及び近隣市町村の企業の即戦力としてのDX人材の養成に焦点を当てた講座（90時間）を提供した。講座内容は、企業の即戦力として求められるDX人材について、事前に経営者や採用担当者を対象としたヒアリング調査を実施し、企業ニーズを踏まえた内容とした。

講座終了後は、キャリアカウンセリングや面接対策により、受講生への就職準備を促した。1月にはオンラインによる合同企業説明会を開催し、受講生と企業とのマッチングの機会を創出した。



DX人材養成講座特設サイト



(2) ワーク・ライフ・バランスの推進

令和5年度は、男性の育児休暇をテーマに、奈良市及び近隣市町村の企業等に対して啓発セミナーや講師派遣型の出前型講座及び好事例収集を行った。令和6年度は、県内企業の女性活躍推進の機運を醸成するため、経営者座談会を実施し、好事例の紹介や横の繋がりの構築を促進した。

➤ 経営者座談会

採用難や人材定着といった課題を実際に経験し、改革を通じて社員満足度の向上や応募者数の増加、業績改善を実現した企業経営者が、自らの実体験を紹介した。参加者は、自社の課題を共有しながら、経営者同士で解決の糸口を探る機会とした。



(3)障害者雇用の推進

平成 30 年度より、障害のある人が障害のない人と同様、その能力や適性に応じた雇用の場に就き、自立した生活を送ることができる地域の実現を目指すための障害者雇用推進事業を実施している。障害者雇用において豊富な知識と実績を有している専門家（雇用推進アドバイザー）の助言を受けながら、市内の中小企業に対して障害者雇用に関する情報提供や訪問によるコンサルティングを行い、障害者が働く機会や場の拡大に向けた取組を進めてきた。令和 5 年度からは、障害者雇用のコンサルティングに関する知見を有する企業への委託事業として障害者の職場体験実習受入や採用のマッチングを伴走型で支援し、「戦力としての障害者雇用」の実現と市内の障害者雇用の機会創出を目指した取組を行っている。

➤ 支援機関等と企業のオンライン交流会

企業ニーズに基づく訓練内容の改善や、支援機関の業務切り出し提案力の向上につながる意見交換が行われ、就労移行支援事業所や就労継続支援 A 型・B 型事業所など、幅広い支援機関との関係構築を促した。



➤ 職場体験実習マッチング

障害者の雇用に前向きな企業と就労を目指す障害者の出会いの場として、令和 2 年度より企業における職場体験実習を実施している。

障害のある方にとっては、「企業等で働いた経験がない（少ない）」、「自分の適性が分からない」など一般就労に不安がある場合でも、実習に参加することで、企業の現場や職種の具体的な業務内容を知ることができる。また、企業にとっては、書類や面接だけでは伝わらない障害の特性や能力を理解したり、将来の雇用に向けて職場の受入体制の確認を行ったり、人材発掘のチャンスとしての活用につなげることができる。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、職場体験実習のための合同企業面接会「マッチング会」を11月にコンベンションセンターで開催し、就労を目指す障害のある方と職場体験実習受入希望の企業のマッチングの機会を創出した。面談により、11人（実習件数13件）が12月からの3ヶ月間に職場体験実習を行うことが決定した。なお、出展企業のうち希望する企業には、専門家を派遣し、「戦力としての障害者雇用」の切り口で、企業戦略や部署の課題解決を踏まえた業務の切出しを含めたコンサルティングを実施した。



➤ 障害者庁内職場体験実習の受入れ

就労に意欲のある障害のある方に、市役所及び市の施設内の職場における実習の機会を提供することにより、障害者の就労に対する観念の育成と就労意欲の向上を図るとともに、障害者の自立や社会参画の促進を図るため、人事課と連携し令和元年度から障害者庁内職場体験実習の受入れを実施している。

(4)高齢者の就業機会の拡大

超高齢社会における高齢者の就業の場の確保及び就業機会の拡大を図る。

- ・公益社団法人奈良市シルバー人材センター(概要は P.35 を参照)への助成

7 各施設

(1)なら工芸館

長い歴史の中で研ぎ澄まされてきた奈良工芸の振興発展を図るために、「受け継ぐ」、「創作する」、「開放する」、の三つを基本理念とした施設

●施設の沿革と概要

所在地	奈良市阿字万字町1番地の1
開館	平成12年11月17日
敷地面積	1,403.50 m ²
延床面積	1,230.71 m ²
構造	鉄骨造 2階建
施設概要	1階 常設展示室、個展展示コーナー(ギャラリー阿字万字)、資料室、工芸品販売コーナー、事務室等
開館時間	午前10時から午後6時まで(入館は午後5時30分まで)
休館日	・月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後において、その最も近い休日でない日) ・休日の翌日(その日が日曜日、土曜日及び休日に当たるときを除く) ・12月26日から1月5日まで
指定管理者	小学館集英社プロダクション共同事業体
事業概要	・奈良工芸品の常設展示 奈良の伝統的な工芸品である漆器、一刀彫、赤膚焼、古楽面、筆、墨、奈良晒、奈良団扇等から、技術の粋を集めた優秀な作品を展示し、長い伝統の中で培われてきた、ものづくりの心や技術・技法を伝える。 ・工芸教室の開催 奈良の工芸に関心・興味がある人を対象に、工芸に対する理解と認識を深め、基本的な技術・技法の修得をめざす。 ・工芸相談 工芸の作り手を目指す人のための相談を受ける。 ・工芸品の販売 技巧をこらした伝統的な作品から現在の生活様式を反映した作品まで、さまざまな工芸品を館内で販売する。 ・奈良伝統工芸後継者育成研修 奈良伝統工芸の技術・技法を後世に伝承することを目的に研修者を育成・支援する。



●令和6年度利用者数 41,427 人

(2)奈良市勤労者総合福祉センター

勤労者をはじめとして広く市民が教養を高め、また、スポーツなどを通じて心身の健康を図るための施設

●施設の沿革と概要

所在地 奈良市佐保台西町 115 番地

開館 平成 3 年 5 月 29 日

敷地面積 7,232.80 m²

延床面積 3,286.15 m²

構造 鉄筋コンクリート造、3 階建

施設概要 1 階 多目的ホール（北・南）、ワークスペース、リハーサル室、コミュニティラウンジ、レストルーム、相談室、更衣室、シャワー室、事務室

2 階 トレーニングルーム、会議室 A（北・南）、研修室 A、和室（北・南）、多目的スペース

3 階 会議室 B、研修室 B、技能講習室、実習室

屋外 テニスコート 2 面(夜間照明付)

駐車場 62 台

開館時間 午前 9 時から午後 9 時まで

休館日 ・月曜日(その日が休日の場合はその日後において、その最も近い休日でない日)
・休日の翌日(日曜日と休日を除く)
・12 月 26 日から 1 月 5 日まで

指定管理者 一般財団法人奈良市総合財団

●申込方法

令和 5 年度から施設予約システム「e 古都なら」のサービスを開始しました。

施設	抽選予約受付	抽選日	随時受付
多目的ホール	利用日の 4 ヶ月前の 月初めから 20 日まで。 (例：9 月分利用の場合、5/1 ～20)	毎月 1 日 午前 0 時から	利用日の 3 ヶ月前の月初めか ら受付 ※毎月 1 日コンピューターに よる抽選終了時から (例：6/1 から 9 月分随時受 付開始)
多目的ホール 以外の施設	利用日の 2 ヶ月前の 月初めから 20 日まで。 (例：7 月分利用の場合、5/1 ～20)	毎月 1 日 午前 0 時から	利用日の 1 ヶ月前の 月初めから受付 ※毎月 1 日コンピューターに よる抽選終了時から (例：6/1 から 7 月分随時受 付開始)

※仮予約後、1 週間以内に窓口で本予約(納入手続き)。原則、仮予約は 1 週間後に自動消去。



(3)BONCHI

本市中心市街地の中央に立地する起業家支援の拠点となる施設

●施設の沿革と概要

所在地	奈良市橋本町 3 番地の 1
開館	令和 2 年 3 月 21 日リニューアルオープン
敷地面積	404.53 m ²
延床面積	1,331.43 m ²
構造	鉄骨・一部鉄筋コンクリート造、地下 1 階・地上 4 階
施設概要	1 階 カフェ・ショップ・コワーキングスペース・イベントスペース 2 階 コワーキングスペース 3 階 シェアオフィス、テナント 4 階 コワーキングスペース・貸し会議室
開館時間	午前 10 時から午後 9 時まで（各階によって異なる）
休館日	原則なし
運営	一般社団法人 TOMOSU



8 団体

(1)公益社団法人奈良市シルバー人材センター

ア 設置目的

定年退職後等において、多くの高齢者は臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務(厚生労働大臣が定めるものに限る。)に係る就業を通じ、自己の労働能力を活用し、自らの生きがいの充実や社会参加を希望している。当センターは、就業機会の増大と福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

イ 設置年月日 昭和 56 年 3 月 31 日(平成 23 年度に、公益社団法人に移行)

ウ 所在地 奈良市八条 1 丁目 790-1

エ 事業内容

・高齢者への仕事の提供

地域社会に密着した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事を家庭、事業所、公共団体等から引き受け、センターに加入している会員に仕事を提供する。

・会員育成の講習会の実施

就業機会拡大及び発注者、地域社会の信頼のために会員に対して各種の講習会を実施する。

・安全就業への取組

安全就業委員・推進委員会を設置し、安全就業の取組を行う。

オ 会員

・奈良市に居住する原則として 60 歳以上の者であること。

・健康な者であって、臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業を通じて自己の労働能力を活用し、それによって自らの生きがいの充実や社会参加等を希望する者であること。

カ 会費 一人当たり年間 2,000 円(夫婦で入会の場合、一方の会員については 1,000 円)

キ 会員登録状況(令和 6 年度)

	男(人)	女(人)	計(人)
60 歳未満	0	0	0
60～64 歳	32	45	77
65～69 歳	147	95	242
70 歳以上	907	434	1,341
計	1,086	574	1,660

ク 会員就業状況(令和 6 年度)

就業実人員 858 人

就業延人員 59,894 人日

(2)奈良市市街地開発株式会社

ア 設立目的

新しい都市拠点の形成等の都市の活性化に関する総合的な調査・研究を実施するとともに、市街地開発事業等により建築された建築物の管理運営を行い、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図るための事業を営むことを目的とする。

イ 設立年月日 昭和 63 年 5 月 31 日

ウ 所在地 奈良市三条本町 8 番 1 号

エ 資本金及び奈良市出資比率

資本金 1 億円 出資比率 100%

オ 主な業務内容

①市街地開発事業により建築された施設の管理運営及び管理組合の業務代行

②①に関連又は付帯する事業

9 課に関連する連絡先一覧

産業政策課 0742-34-4741

●総務係関連

奈良県信用保証協会	33-0552	
奈良商工会議所	52-1777	FAX：52-3111
奈良東商工会	0743-82-0676	FAX：0743-82-0585
なら工芸館	27-0033	FAX：27-9922
奈良県工芸協会(事務局)	26-8828	
近畿経済産業局	06-6966-6000	
奈良県産業部 産業創造課 産業政策係	27-7005	
奈良県産業部 経営支援課 流通・サービス産業係	27-8133	
奈良県中小企業団体中央会	41-3200	FAX：41-0125
奈良県地域産業振興センター	36-8312	
奈良県中小企業再生支援協議会	52-5110	FAX：52-5333
奈良県消費生活センター	36-0931	FAX：32-2686
ジェトロ奈良	88-0070	FAX：88-7700
消費生活センター	34-4895	FAX：34-4825

●創業支援係関連

奈良市市街地開発(株)	30-3370	FAX：30-3372
シルバー人材センター	50-4004	FAX：50-4009
BONCHI	27-1111	
奈良県よろず支援拠点	81-3840	

●キャリア支援係関連

ハローワーク奈良	36-1601	FAX：36-1608
奈良県しごとiセンター	23-5729	
奈良県産業部 人材・雇用政策課 人材確保推進係	27-8812	
勤労者福祉サービスセンター	71-2444	FAX：71-9155